

教育・子ども・人権・社会正義・尊厳

Keywords: 多様性、移民・外国人、在日ブラジル、母語（継承語）、多文化共生、社会包摂

◆研究概要等

在日外国人に関すること、特にニューカマーの子どもの教育を中心に、研究しています。1980年代、労働力不足に悩んでいた日本の経済界は、地球の反対側のブラジルやペルーなどで日系人（戦前・戦後に仕事を求めて海を渡った日本人移民の子孫たち）を対象に求人活動を展開していました。当時、それらの地域の経済状況は厳しく失業率も高かったため、多くの日系人が日本に働きに来るようになり、彼・彼女らの子どもたちが日本の公立学校に、日本語がわからないまま、通うようになりました。私が日本へ来た目的は、その子どもたちが日本の学校でどのように受け入れられ、日本語を習得していくのかを研究することでした。フィールドワークで学校現場に入ってみると、日本に来るまでは問題なく勉強ができていた子どもたちが、馴染みがない言語で全教科を勉強しなければならなくなり、しかも「日本の学校文化」に速やかに適応することを求められ、困難に直面していました。学校関係者も、どう対応すればいいかわからず、戸惑っていました。この当時の体験から、私は、現場主義、現場に貢献する学問研究をモットーに、言語学、第二言語習得、社会言語学、異文化間理解教育研究に取り組んできました。その結果、今では研究分野は、日本の外国人政策研究や教育学、教育社会学などを含む、在日外国人に関係する学際的な研究領域と社会すべての構成員の社会包摂を目指す研究活動へと広がっています。

■研究テーマ等

1. 外国人名に関する研究

社会の多様化に伴って、従来の人名の扱い方に様々な不都合が生じています。「郷に入れば郷に従え」とよく言われますが、個人名もその対象にすべきでしょうか。名前にはアイデンティティ形成に重要な家族との繋がりを表す民族性、親の思い、文化の伝承等多様な情報が含まれています。学校現場で非日本名が消えていく現象など、人の移動に伴って名前に生じる事象を研究しています。

社会マスメディア系専攻
准教授

多文化研究室名

リリアン テルミ ハタノ

Lilian Terumi HATANO

lilian@socio.kindai.ac.jp



<http://researchmap.jp/read0096597/>

2. 多文化共生社会研究

グローバル化によって人の移動がさらに活発になり、ますます社会が多様化しています。多様な他者との関わりの中で、人はその現実はどう向き合っていけばよいのでしょうか。この分野では特に、現場から出発して、研究対象となった人たちが置かれた状況の改善につながる、社会的インパクトを与える研究実践を目指してきました。たとえば、国立民族博物館の「多みんぞくニホン」展で在日ブラジル人コーナーの企画・設営を担当したときは、日本人とブラジル人の相互理解を深める展示を目指しました。その他、様々な自治体の外国人代表者会議や外国籍市民施策懇話会などの委員を務め、政策提言などを行ってきました。教員、行政関係者、研究者、保護者そして若者・子どもたちが出会い、交流し、意見や情報を交換する場とするためにブラジル日本教育フォーラムを立ち上げ、実行委員会代表を務めています。

また、ブラジル連邦共和国外務省の「在外ブラジル人代表者暫定委員会」の委員を務め、ブラジル外務省主催の在日ブラジル人の20周年を記念するイベントで在日ブラジル人研究者代表の一人として講演したほか、教育

研修や人権研修会の講師も多数務めてきました。

文部科学省委託研究や、文部科学省国際課の外国人の子どもの教育環境に関する調査も担当しました。

3. ニューカマー、在日ブラジル人の教育、ブラジル学校などに関する研究

日本の公立学校に通う子どもたちへの母語（継承語）教育、学習支援などのアクションリサーチを実践しています。また、日本各地に存在するブラジル学校の現状と課題も研究してきました。ブラジル学校の研究については、地方自治体の担当者や関係者、ブラジル学校への支援の実績があり各校の状況に詳しいNPO、行政書士、弁護士等を含む研究班（実行委員）を構成しての共同研究も行ってきました。

●論文・作品・表彰・特許等

ハタノ、リリアン テルミ (2015)「日本社会における在日外国人の本名と通名の意味」『ひつじ意味論講座』第7巻、ひつじ書房

ハタノ、リリアン テルミ (2012)「多文化家族を感じるー在日ブラジル人の思い」川村千鶴子『3.11後の多文化家族』（3章）、明石書店

ハタノ、リリアン テルミ (2011)「共生」の裏に見えるもう一つの「強制」馬淵仁（編）『「多文化共生」は可能かー教育における挑戦』（第7章）、勁草書房

ハタノ、リリアン テルミ (2010) 文部科学省委託研究平成二一年度外国人教育に関する調査研究報告書「ブラジル人学校等の準学校法人設立・各種学校認可の課題（研究代表者中村安秀）」準学校法人設立・各種学校認可取得に関する具体的な支援のあり方（マニュアル）作成のメンバー自治体国際化協会（CLAIR）において公開

<http://www.clair.or.jp/j/multiculture/tagengo/authorize-school.html>

Hatano, Lilian Terumi (2010) 'A Educação de Crianças Brasileiras no Japão – Desafios para os Próximos 10 anos' "20 Anos dos Brasileiros no Japão" Fundação Alexandre de Gusmão (FUNAG)

ハタノ、リリアン テルミ (2008)『マイノリティの名前はどのように扱われているのかー日本の公立学校におけるニューカマーの場合ー』ひつじ書房

ハタノ、リリアン テルミ (2008)「ブラジル人学校の現状と課題」『世界人権問題研究センター研究紀要』、第13号、世界人権問題研究センター

ハタノ、リリアン テルミ (2006)「在日ブラジル人の語るものとは」庄司博史・金美善編『多民族のみせかたー特展「多みんぞくニホン」報告書』国立民族学博物館調査報告書SERのシリーズ

Board de Premiação do Brazilian International Press Awards Japão（プレスアワード選定委員会）Brazilian International Press Award 教育部門 (2011) 受賞、ポルトガル語促進部門 (2014) 受賞

2001年7月23日：大阪大学 博士（言語文化学）

▲趣味等

茶道、幅広くお茶に関すること、スパイス・ハーブに興味があり、旅行、陶器類も好きである。

◆ゼミの宣伝等

ゼミでは、フィールドワークは必ずし、社会的包摂を目指すために様々なディスカッションをし、たくさんの楽しい出会いと対話するゼミ旅行を実施していきたい。（実績：沖縄、愛知、東京など）



多文化ハロウィンイベント